

科目名	保育実習Ⅲ				担当	市東 賢二・大塚 美奈子・川島 良雄		
形態	実習	単位数	2	開講時期	2年通年	実務経験	—	
必修	保育士：選択必修				ナンバリング	Y5108	DPとの関連	免1・免2
授業概要	<p>本科目は、児童福祉施設等での実習科目である。実習を行うためには、原則として「保育所実習Ⅰ」をすべて履修済みであるとともに、「保育所実習Ⅲ事前指導」に13回出席し、幼児教育学科の実習許可会議によって実習を許可されることが必要である。</p>							
到達目標 学習成果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 既習の教科目や保育実習の経験を踏まえ、児童福祉施設等(保育所以外)の役割や機能について実践を通して、理解する</li> <li>2. 家庭と地域の生活実態にふれて、子ども家庭福祉、社会的養護、障害児・者支援に対する理解を元に、保護者支援、家庭支援のための知識、技術、判断力を習得する</li> <li>3. 保育士の業務内容や職業倫理について具体的な実践に結びつけて理解する</li> <li>4. 実習における自己の課題を理解する</li> </ol>							
授業計画	回	内容						
	1	1. 児童福祉施設等(保育所以外)の役割と機能						
	2	2. 施設における支援の実際						
	3	(1) 受容し、共感する態度						
	4	(2) 個人差や生活環境に伴う子ども(利用者)のニーズの把握と子ども(利用者)理解						
	5	(3) 個別支援計画の作成と実践						
	6	(4) 子ども(利用者)の家族への支援と対応						
	7	(5) 各施設における多様な専門職との連携・協働						
	8	(6) 地域社会との連携・協働						
	9	3. 保育士の多様な業務と職業倫理						
	10	4. 保育士としての自己課題の明確化						
	11							
	12							
	13							
	14							
15								
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会福祉施設の生活に参加し、役割や機能の理解が深まったか</li> <li>2. 保護者支援、家庭支援のための知識・技術・判断力を習得することができたか</li> <li>3. 保育士の業務内容と職業倫理について具体的に理解し、自らの課題を理解できたか</li> </ol> <p>以上の観点から実習施設の長が評価するとともに、実習日誌の内容及び手続き等から、実習委員会が評価する</p>							
評価方法	<p>その他 100% (実習園による評価 60%、実習委員会による評価 40%の割合で点数化し、総合的に評価する)</p>							
フィードバック 方法	<p>実習巡回時にカンファレンスを行う 実習施設での評価を基に、事後指導を行う</p>							
アクティブ ラーニング	実習							
教科書	『実習ガイドブック』上田女子短期大学							
参考書	授業中に随時提示する							
履修条件	<p>「保育実習Ⅰ（施設）事前事後指導」15回を受けることが実習履修の要件である。 また、本学幼児教育学科において定める実習実施基準を履修の条件とする。</p>							
授業外学習	<p>事前学習：「保育実習Ⅰ(施設)事前事後指導」の第1～13回、施設毎に実施される事前指導を受講し、実習の目的を具体的に考察すること 事後学習：実習での体験や学びを明確化し、自らの課題について考察すること</p>							
オフィスアワー	3階第9研究室      citeaux@uedawjc.ac.jp							